

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
 電話：74-0212 FAX：74-0105
 E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp



リズム良くもちをつく
久住寿来の会の皆さん



元気いっぱいオープニングを飾ってく
れました!(黒坂小学校児童による傘踊り)

広がる生涯学習の 交流の輪

〈公民館まつり〉

10月26日から28日までの3日間、

「来て、見て、ふれて、みんな笑顔で生涯学習」をテーマに、第19回公民館まつりを開きました。期間中、355人もの多くの方が来場。にぎやかな3日間となりました。

また、今年も日野高校の生徒や専門学校の学生の皆さんに運営ボランティアとして協力してもらいました。そのほかにも、展示やバザー、講座など参加者や関係者の皆さんに支えられたまつりでした。ありがとうございました。



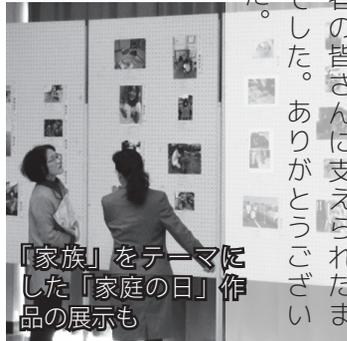
町の歴史を語る貴重な資料も



大盛況のテント村。開始4分で完売するところも



専門学校生が来場者の健康をチェック



『家族』をテーマにした『家庭の日』作品の展示も

生涯学習まちづくり大会 地域で共につくるまちの未来

10月28日、公民館まつりの3日目には、生涯学習まちづくり大会が開かれました。

はじめに、日野町青少年育成会が「家庭の日」作品入賞者(絵画・作文・写真)を表彰。その後、作文の最優秀賞を受賞した小学生が作文を朗読しました。

続いて、日野高校魅力向上コーディネーターの片平誓子さんと町地域おこし協力隊の家崎耕平さん、同OBの中山法貴さんが講演を行いました。

片平さんは『『共育』で創る地域の未来』と題し、日野高校の魅力向上にかかわってきた中で感じたことなどを報告しました。「高校生の流出は地域の消滅につながる」と片平さん。地域も一緒になって高校の魅力アップや存続に向け支え合っていくことの大切さを訴えていました。

また、中山さんは地域おこし協力隊の3年間の



▲93人が生涯学習の大切さを学ぶ
 ▲家崎さん(右)の笑いヨガで身も心もリフレッシュ

活動を報告。家崎さんは、「笑うことの大切さ」をテーマに、協力隊の活動の中でも実践している「笑いヨガ」について講演しました。

今回講演した3人の活動はどれも「町の良さ(魅力)」を引き出す活動といえます。来場者は、その魅力を地域一丸となって広めていくことの大切さを学びました。

地域の子どもは地域で見守り育てよう

～「冬休みの生活について」日野町青少年育成会からのお願い～

もうすぐ冬休みです。お年玉をもらい、子どもたちがお金を使う機会も増え、日常とは違う解放感が広がります。子どもたちを安全に健やかに育てるため、地域の皆さん自らあいさつをしたり、手本になる行動を示したりして、どの子も我が子と同じように接し、地域で見守り育てましょう！

■『凡事徹底』

「あいさつをする」「返事をする」「履き物をそろえる」…どこでも当たり前のことを徹底しましょう。

■『家庭で育む「生きる力」』

家族のきずなを深めましょう…温かい言葉で心が元気！

早寝・早起き・朝ごはん…規則正しい生活で体が元気！

■『いつでも、どこでも地域の子どもに目を』

・「褒める」と「叱る」を上手に使いましょう ・地域の子どもは地域で育てましょう

・ルール違反に見て見ぬ振りをせず、迷わず注意をしてください

■町内の学校の冬休み期間

小中学校 12月22日(土)～1月7日(月) / 日野高校 12月22日(土)～1月8日(火)

■毎月第3日曜日は「家庭の日」

温かい雰囲気の中で、家族の対話を図りましょう。

次回おしどり学園のご案内

日時 平成31年1月18日(金) 午前9時30分

場所 町公民館 講堂

講師 「認知症との付き合い方」

講師 鳥取大学医学部 地域医療学講座医師 朴 大晃(パクテホ)さん

※講演はどなたでも参加できます。お気軽にお越しください。



▲ただ歌うだけでなく、動作をつけることで一体感も

▼第7回おしどり学園

高らかに響く歌声。頭も心もスッキリ

11月16日、第7回おしどり学園を開きました。

今回は、コーラスグループアザレアの鳥居敏子さんと西村美加さんを招き、学園恒例の人気講座「みんなでうたおう」を行いました。

鳥居さんが歌唱指導、西村さんがピアノを演奏し、季節の歌や童謡、

懐かしい昭和歌謡など14曲をみんなで歌いました。

「虫の声」「もみじ」「里の秋」「旅愁」「たきび」を歌った季節の歌では、向寒の時期でしたが、大きな声で歌い学園生の体はぽかぽかに。

また、「あんたがたどこさ」「ベンケイガ」という曲では、手をたたいたり、手を頭にのせたりしながら、歌に合わせて動くことで遊ぶ楽しさを体感することができました。

そのほかにも、大山開山1300年を祝う「大山賛歌」わがこころの山」や「見上げてごらん夜の星を」「涙そうそう」「椰子の実」といった昭和歌謡曲も。最後は、ふるさと愛あふれる2曲「きらりこの町」と「ふるさと」を歌い上げました。

実際に声に出して歌えば、頭だけでなく心もスッキリするものです。学園生は皆、歌で一体となり連帯感がより一層深まった様子でした。